

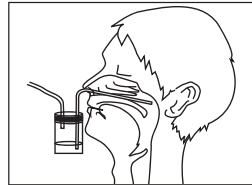
イムノエース[®]Flu 操作方法

株式会社 **タウンズ**
お問い合わせ先 ☎ 0120-048-489
受付時間 / 9:00~17:00 (土・日・祝日・弊社休業日を除く)

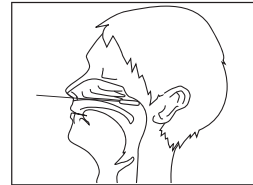
■ 検体採取

下記に記載の検体を採取してください。 ※検体採取方法につきましては裏面を参照ください。

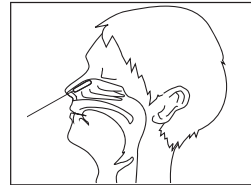
鼻腔吸引液



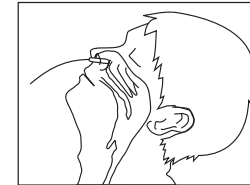
鼻咽頭めぐい液



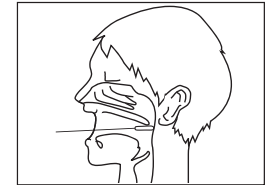
鼻腔めぐい液



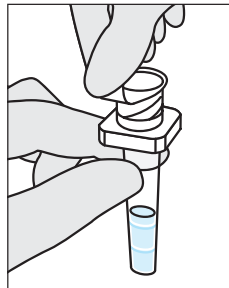
鼻汁鼻かみ液



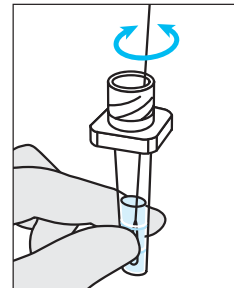
咽頭めぐい液



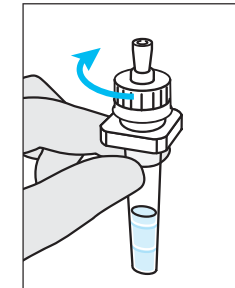
■ 試料調製



検体抽出液の容器のアルミシールを液が飛び散らないように剥がします。

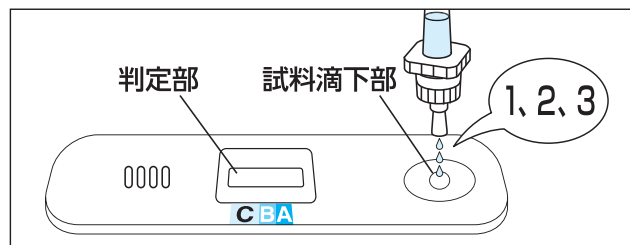


検体採取後のスワブを検体抽出液に浸し、容器の外側からスワブの頭部を軽くつまみ5回以上左右に回転させ、上下に動かし攪拌します。抽出後、容器の外側からスワブの頭部をつまみ、試料を絞り出すようにスワブを引き抜き、試料とします。
(生理食塩水で2倍希釈した鼻腔吸引液を使用する場合は、200μLを検体抽出液に加えてよく混和し、試料とします。)



検体抽出液の容器の上端に付属のノズルを被せてしっかりと閉めます。

■ 試料滴下



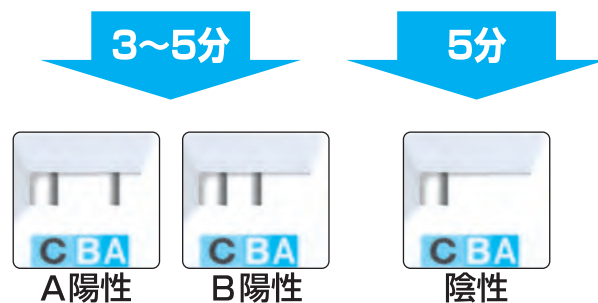
検体抽出液の容器の中ほどをつまみ、テストプレートの試料滴下部に試料3滴を滴下します。

⚠ 注意
テストプレートは開封後すぐに使用してください。

注意事項

- ① 滴下するとき、検体抽出液の容器は垂直に保持し、ノズルの先端が試料滴下部に触れないよう注意してください。
- ② テストラインは、ラインの濃淡にかかわらず、目視で確認できれば陽性です。
- ③ ラインは色分けにより区分されている各判定部内であれば、その位置にかかわらず有効です。
- ④ フィルターに目詰まりするほどの強粘性の試料は、生理食塩水で2倍希釈して使用してください。
- ⑤ 抗原量が非常に多い場合には、判定部[A]又は[B]に非常に濃いラインが認められ、判定部[C]にラインが認められないことがあります。このような場合は、新しい検体抽出液1本に対して試料3滴滴下し、十分に混和し、希釈調製したものを試料としてください。
- ⑥ 吸引器、咽頭・角結膜用スワブ等は、キットに含まれておりません。
- ⑦ 滴下量が多すぎた場合には、本品の測定原理から白金-金コロイド標識抗体が希釈されることにより反応が遅延し、判定時間内に判定部[C]及び/又は[A]又は[B]にラインが認められない、又はラインが薄くなる場合があります(偽陰性)。

■ 判 定

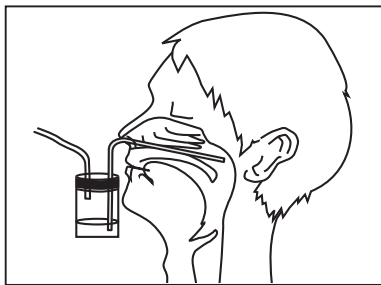


イムノエース[®]Flu 検体採取方法

株式会社 **タウンズ**
お問い合わせ先 ☎ 0120-048-489
受付時間 / 9:00~17:00 (土・日・祝日・弊社休業日を除く)

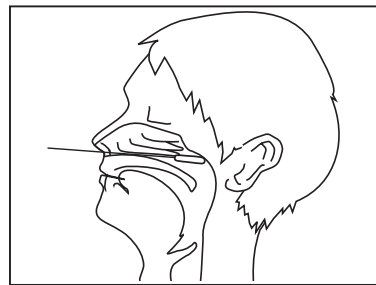
下記手順に従い検体を採取してください。

鼻腔吸引液



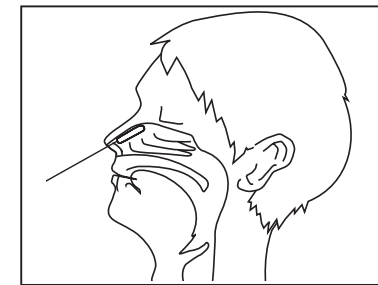
- i) 吸引トラップの片方のチューブを吸引ポンプに、もう一方のチューブを外鼻孔から鼻腔にしっかり挿入します。吸引ポンプを作動させて鼻腔液を吸引トラップに採取します。
- ii) トラップに採取した鼻腔吸引液にキット付属のスワブを浸して液をよく吸収させます。
マイクロピペット等で採取する場合は、鼻腔吸引液を生理食塩水で2倍希釈し、200 μ Lを採取します。

鼻咽頭ぬぐい液



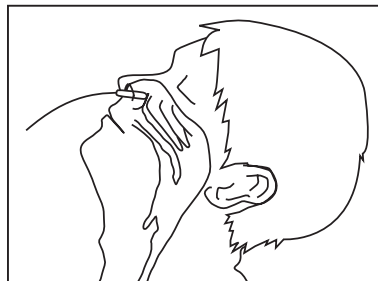
キット付属のスワブを鼻甲介に沿わせながら、鼻咽頭まで挿入し数回擦るようにして粘膜表皮を採取します。

鼻腔ぬぐい液



キット付属のスワブを鼻孔から2cm程度挿入し、挿入後、スワブを5回程度回転させながら擦るようにして粘膜表皮を採取し、5秒間静置します。

鼻汁鼻かみ液

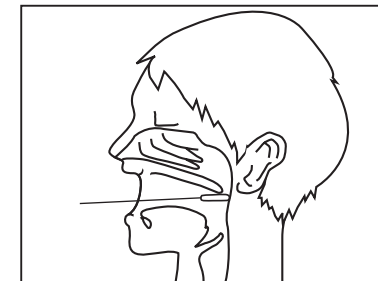


問診により、鼻汁(鼻水)の採取が可能と判断された患者に対して、鼻汁鼻かみ液採取用シート(キットには付属していません)を手渡し、それに患者自身で鼻をかんでもらいます。得られた鼻汁鼻かみ液の一部をキット付属のスワブで拭き取って検体とします。

又は鼻前庭部に存在する鼻汁をキット付属のスワブに浸して採取したものを検体とします。

注) 鼻をかんでもらった際の鼻汁の量が少ない場合、又は鼻前庭部に存在する鼻汁の量が少ない場合は検体量が不十分と考えられますので、検査に使用せず、他の方法で採取した検体を用いて検査を行ってください。

咽頭ぬぐい液



別売の咽頭・角結膜用スワブを口腔から咽頭にしっかり挿入し、咽頭後壁、口蓋扁桃の発赤部位を中心に数回擦るようにして粘膜表皮を採取します。採取時は、だ液に触れないように注意してください。付属のスワブは鼻腔用です。咽頭用としては、別売りの咽頭・角結膜用スワブをご使用ください。